

VI 茨城県神栖市奥野谷（旧神栖）

1-1 神栖市の概観

◇位置

茨城県の東南端に位置し、利根川をはさんで千葉県と接している。東京から 100km 圏内、成田空港からは約 30km。

◇面積

147.26 平方 km

◇人口

36,459 世帯／94,511 人(平成 24 年 12 月 1 日現在)

◇主な産業

北部から東部一帯は鹿島港及び鹿島臨海工業地帯が整備され、鉄鋼、石油、化学を中心とした日本有数のコンビナート群を形成し、素材作業を中心とした工業都市となっている。

◇交通機関

市内を走る鉄道はなし。路線バスのみ（関東鉄道バス）。

市役所の最寄り駅は、JR 成田線小見川駅、JR 鹿島線潮来駅、JR 鹿島線鹿島神宮駅。それぞれの駅からバスに乗車。

1-2 神栖市の震災被害と復興状況

◇被害状況(付・人口動態) *日付に年の入っていないものは平成 23 年

(1) 人的被害・避難者の状況

① 人的被害

区分	人数
死者	0人
行方不明	0人
負傷者	6人

② 避難者数

月日	避難所	人数
3月13日現在	41か所	8,615人 ※最多時
3月31日現在	2か所	113人 (平泉コミュニティーセンター、うずもコミュニティーセンター)
5月9日現在	1か所	8人 (平泉コミュニティーセンター)
5月22日現在	閉鎖	

(2) 家屋の被害状況

① 災証明の受付件数

・受付件数 → 5,990件 (8月31日現在)

②住宅被害認定調査

・被災した家屋の判定件数 → 5,392件(8月31日現在)

判定結果	居 宅	居宅以外	計
全 壊	139	10	149
大規模半壊	592	32	624
半 壊	1,130	73	1,203
一部損壊	3,185	138	3,323
被害	81	12	93
計	5,127	265	5,392

(3)液状化による被害状況

①液状化の状況

・特に被害の大きかった地域

→ 堀割、深芝地区

(面積:約153.9ha)

②り災証明の判定結果

・被災した家屋のうち、液状化被害の件数 → 1,658件(8月31日現在)

判定結果	件 数
全 壊	115
大規模半壊	420
半 壊	581
一部損壊	526
無被害	16
計	1,658

(4)道路の被害状況

3月12日現在	・被害箇所数約200か所、通行止め6か所
3月15日現在	・道路被害箇所について、応急的に修復終了
7月 2日現在	・約500路線、約78キロメートルで被害あり (隆起、亀裂、陥没、破損等)

(5)農業の被害状況

農地の液状化	・賀、知手中央、太田など市内各地区において、水田等に液状化を確認
水路	・破損 (108箇所 54,782m)
揚水機	・破損 (28箇所)
農業用道路	・亀裂、破損等 (12箇所 1,288m)
神之池	・津波により、海水が流入 →塩分濃度が高くなり、農業用水として不適 ・常陸利根川から水を汲み上げ、4月9日から排水ポンプを設置し、鹿島港へ排水

市内の地域別被害状況は以下の通りである。神栖エリア(特に西部の堀割、深芝地区)で

は液状化の被害が大きかった。

	住所	津波浸水被害	液状化被害	道路被害
1. 神栖地域の西部	鰐川, 堀割, 居切, 下幡木, 筒井, 賀, 深芝, 深芝南, 平泉, 平泉東, 神栖, 大野原, 息栖	太平洋沿い、鹿島港沿い	太平洋沿い 市街地 水田	隆起、亀裂、陥没、破損 (国道124号沿い)
2. 神栖地域(市役所～利根川沿い)	高浜, 石神, 萩原, 田畑, 木崎, 溝口, 知手, 軽野地区	太平洋沿い	市街地 国道 124 号沿い	
3. 神栖地域の東部(知手～横瀬), 柳川	日川, 横瀬, 知手中央, 奥野谷, 南浜, 知手(海岸), 柳川, 柳川中央	太平洋沿い	水田	陥没
	住所	津波浸水被害	液状化被害	道路被害
4. 波崎地域の西部(太田～矢田部)	太田, 太田新町, 砂山, 須田, 若松中央, 矢田部	太平洋沿い	国道 124 号沿い	陥没
5. 波崎地域(土合など)	矢田部, 土合	太平洋沿い		
6. 波崎地域の東部		太平洋沿い		

<人口動態> (単位：人)

神栖市の人口の増減については、以下の通りである。 ※()内は、前年比

		人口	男	女
平成 23年	2月1日	94,913	48,810	46,103
	4月1日	94,702	48,710	45,992
	10月1日	94,292	48,535	45,757
平成 24年	4月1日	94,156 (-546)	48,479 (-231)	45,677 (-315)
	10月1日	94,446 (154)	48,724 (189)	45,722 (-35)

外国人登録数(各年12月末現在)

H19	H20	H21	H22	H23	
2,990	2,918	2,918	2,795	2,419	
—	-72	0	-123	-376	※対前年比

平成23年			
3月		4月	
転入	転出	転入	転出
449	695	381	875

平均	平成11年3月～23年2月 *平成12年, 17年, 22年10月を除く						平成23年4月～24年8月					
	毎月		3月中		4月中		毎月		3月中		4月中	
	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出
	381.8	358.1	644.8	845	554.8	434.1	302.8	336.7	471	644	440.5	694

※平成11年3月～17年8月に合併するまでの期間については、神栖町・波崎町の合計

神栖市内での被害は、人的被害としては負傷者 6 名という数字であったが、95,434 名(平成 23 年 2 月末現在)の人口のうち、避難者数が最多時で 8,615 人と全人口の 1 割弱にのぼった。

また、平成 23 年の平均転出者数が 351.1 名であるのに対し、3 月の転出者数は 695 名、4 月は 875 名と、多くの転出者がいた模様である。因みに、平成 11 年 3 月～平成 23 年 2 月までの 3 月・4 月の転出者数・平均がそれぞれ 845 名、434.1 名であることから、震災後の平成 23 年 4 月の転出者数が際立って多いことがわかる。

外国人登録者数についても大幅な減少がみられる。

◇復興状況

津波による浸水、液状化、道路の隆起・陥没・亀裂・破損などによる市民の日常生活への影響は甚大であったが、「神栖市震災復興計画」に基づき、取り組みが進められている。

インフラの復旧については、上水道が 5 月 7 日に、下水道は 6 月 2 日に市内全域で復旧した。その他、雨水排水路の復旧、道路についても交通車両の安全確保のため舗装路面の応急復旧の実施、液状化調査と合わせて 3 年以内の全線本復旧を目指している。

庁舎等、公共施設の復旧については、平成 24 年度中の補修を予定している。なお、児童館・保育所の復旧、修繕は完了している。

さらに、復旧と合わせて災害に強いインフラの整備として、各施設の耐震化も実施している。

市民生活の安定に向けた支援として、被災住宅の支援、税金・保険料等の減免措置を行っている。罹災証明書の発行や義援金の配分については、平成 23 年度中に実施済みである。

また、産業基盤の復旧として港湾施設の復興、農業・漁業・商業に対する支援を行うとともに、災害により離職した失業者などに対しての雇用機会提供も行っている。

1-3 収録地点について

収録地点：神栖市奥野谷<旧神栖地区>

◇位置

東は太平洋にほど近い、神栖市の北東部に位置する町である。

◇交通（距離／交通手段）

東京駅から 109km。車で約 1 時間 30 分、公共交通機関使用で約 2 時間 30 分。

水戸駅から 65.7km。車で約 1 時間 30 分、公共交通機関使用で約 2 時間 30 分。

市役所から 2.2km。車で 4 分。

・最寄駅：成田線笹川駅（11.3km）

◇地勢

ほとんどが低地で、田畑と住宅地が広がっている。

町の東部と西部で工場地帯である東和田をはさんでいる。また、町内島北部には工場と物流会社が固まっており、町内の東半分には工場が多数存在する。

◇行政区画

神栖地域

◇人口・戸数(4/1 現在)

人口総数 (男 ・ 女) / 戸数

2010年 1,091人 (553人・538人) / 395戸

2011年 1,081人 (550人・531人) / 391戸

2012年 1,086人 (547人・539人) / 405戸

◇産業(生業)

主な産業は、東部が工業、西部が農業。

【出典】 * 《 》 中は各ホームページへのアクセス年月日

○神栖市ホームページ

・「市のプロフィール」

<http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/1043.htm> 《2013.1.16》

・「市政案内」>「統計情報」>「統計かみす」>「2 地勢，風土等及び面積」

<http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/secure/7017/1-2climate.pdf> 《2013.1.16》

・「市へのアクセス」

<http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/6503.htm> 《2013.1.16》

・「市政案内」>「統計情報」>「神栖市人口」>「人口推移(月別)」>「平成24年」

<http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/dd.aspx?menuid=1599> 《2012.9.6》

○神栖市震災復興計画【資料編】

http://www.city.kamisu.ibaraki.jp/secure/17866/fukkoukeikaku_siryohen.pdf 《2012.9.6》

○茨城県ホームページ

・国際課>データ集>「外国人登録者数(市町村別)」

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/seikan/kokuko/jpn/data/01-03.xls> 《2012.10.26》

・「いばらき統計情報ネットワーク」>「茨城県の人口と世帯(推計)月報」>「茨城県の人口と世帯(推計)ー平成24年12月1日現在ー」

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/jinko/getsu/jinkou1212.xls> 《2013.1.16》

以上、1-1, 2 に関して

○茨城県ホームページ いばらき統計情報ネットワーク > 分野別(人口) 《2012.11.8》

・「茨城県の人口(町丁字別)」(平成22年4月1日現在): 水戸市～小美玉市の市部

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/jinko/aza/aza22/hyou02-1.xls>

・「茨城県の人口(町丁字別)」(平成23年4月1日現在): 水戸市～小美玉市の市部

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/jinko/aza/aza23/hyou02-1.xls>

・「茨城県の人口(町丁字別)」(平成24年4月1日現在): 水戸市～小美玉市の市部

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/jinko/aza/aza24/hyou02-1.xls>

以上、1-3 に関して

2 神栖市奥野谷（旧神栖）の方言の特色

方言区画上の位置・隣接諸方言との関係

茨城県の方言は福島県や栃木県の方言との類似が指摘されることがある。こうした指摘は無アクセントである点などに基づくものである。しかし、県内でも千葉県に隣接する地域ではアクセントの語彙的な区別がある地域がある。ここで取り上げる神栖市奥野谷（旧神栖）の海沿い地域の方言でもアクセントの区別が観察される。

茨城方言の下位区分に関しては、県北、浜言葉、県央、霞ヶ浦北浦周辺、県南西、利根川流域の六つに分かれるとする説（読売新聞 1967）がある。神栖市奥野谷の海沿い地域は浜言葉に分類される地域である。アクセントの区別がある点やいわゆるノダ文の「ノ」が出ない構造を持つ点など、神栖市波崎や利根川を挟んで神栖市に隣接する銚子市で話されている方言と共通する特徴である。銚子方言との共通性は、古くから波崎とともにこの地域にも銚子から漁師として移り住んだ人が多く、移住後も生業をとおして銚子との関係が深かったことと関係があるものと考えられる。なお、話者によれば、同じ神栖市奥野谷でも海沿いの地域はハマまたはシタと言ひ、そのことばは銚子に近い荒っぽい漁師ことばであり、一方、利根川沿いの地域はオカと言ひ、水戸方面に近いやわらかいことばだとのことである。

音韻

(1) 標準語の連母音[ai]・[ae]・[ie]に対応する要素が[e:]になる傾向がある。例：ネー（否定接辞の「ない」）、テーラ（平ら）、ゲーロ（蛙）、メール（見える）。ただし、「冷える」はヒールである。

(2) 語中・語尾のカ行子音・タ行子音の有声化が見られる。「坂」はサガ[saga]、「西瓜」は[swiga]、「頭」はアダマ[adama]、「松」は[mazu]と発音される。

(3) 母音の[i]と[e]の区別が明確でなく、[i]～[e]の間で発音される傾向がある。「井戸」も「江戸」も[ido]、「今」は[ima]～[ema]、「威張る」は[ebaru]または[ibaru]となる。なお、「井戸」は頭高、「江戸」は平板アクセントである。

(4) 後ろに無声子音で始まる助詞「から」「と」や「時（トキ）」が来ると活用語尾「ル」が促音化する傾向がある。「そうすると」はソースット、「来るから」はクッカラ、「来る時」はクットキと発音される。

(5) シュ・ジュがシ・ジになる傾向がある。「主体」は[jitai]、「熟している」は[ɕikufiteru]（母音の無声化の表記は省略）と発音される。

(6) 茨城県下の方言の大部分では語彙的なアクセントの対立がないが、この地域ではアクセントの対立（東京式アクセント）がある。「雨」はア'メ（頭高）、「飴」はアメ（平板）である。

文法

(1) 否定の助動詞ネーに接続するカ行変格活用動詞「来る」の形式は、コネー・キネーの両方の形式がある。

(2) サ行変格活用動詞「する」は、シル（終止形）、シレバ・シロバ（仮定の接続助詞バに接続する形）となる。

(3) 推量・意志の接尾辞「ベ（一）」「ペ」「ダッペ（一）」が用いられる。例：シペー（しよう）、イグペー（行こう）、クッペ（来るだろう）、フッペ（降るだろう）、ナクナッタダッペー（無くなっただろう）。

(4) 格助詞に関しては、次のような特徴がある。方向を表す格助詞サが用いられる点は、茨城県の他の地域と同様である（ドゴサ イグ（どこに行く））。受け手（相手）にはニが用いられる（オレニ／オンニ クレ（俺にくれ））。茨城県内には直接目的語がゼロ格形式（無助詞格）もしくは格助詞ゴドで表される方言が多いが、この地域の方言では、ゼロ格形式もしくは格助詞バである（スイガ ツグル（西瓜を作る）、オレバ／オラバ タタイタッペ（俺を叩いたろう））。連体格（所有）のカ°が用いられることがある（オレカ° モン（俺のもの））。

(5) 共通語（標準語）の終助詞「ぞ」が用いられる箇所、終助詞ドが用いられる。例：ツクッテンド（作っているぞ）、ブッカケチッタド（かけちゃったぞ）。

(6) 標準語のノダ文のノが欠落する傾向がある。例：キルモン モッテグダ（着るものを持っていくのだ）、イジバン フルイダ（一番古いのだ）。

語彙

(1) 男性の場合、一人称（自称）の代名詞はオレ、オラが用いられる。二人称（対称）の代名詞はニシ、オメーが用いられる。

(2) ケ°（ゲ）という接尾辞が人を表す名詞や代名詞につくと「～の家」の意味になる。例：オレケ°ノ ガキ（俺の家の子ども）。

(3) 「オッ／カッ／クッ／トッ／ヒッ／ブッ／ブン」など、様々な接頭辞が多用される（『文化財かみす 第20集』）。これは、茨城県の他の地域と同様の傾向である。例：オッペス（押す）、ブッカク（折る）、など。接頭辞の種類が多く、多用されるのは、北関東の方言に共通する特徴でもある。

(4) 「へーめ（蠅）」のように虫の名称の後に指小辞「め」がつくことがあるが、この地域の方言では生産的でない。「蚊」はカンメとは言わない。

(5) 「眉毛」をヤマゲという。ヤマゲは全国でも千葉県各地の他には利根川をはさんで千葉県と隣接する茨城県南東部の一部にしか分布していない。（『日本言語地図3』、『現代日本語方言辞典6』）この地域の方言が千葉県の方言と共通する特徴の一つと言える。

(6) 「這う」ことをヌダ'ル（中高アクセント）という。これは、群馬県や埼玉県ノタ'ル（中高アクセント）（『現代日本語方言辞典5』）に共通するものと思われる。

参考文献

読売新聞社(1967)『茨城の民俗』鶴屋出版部

国立国語研究所(1983)『日本語地図③(縮刷版)』大蔵省印刷局

平山輝男編(1993)『現代日本語方言辞典5・6』明治書院

神栖町教育委員会・神栖町歴史民俗資料館(1997)『文化財かみす 第20集』神栖町教育委員会・神栖町歴史民俗資料館



写真1 草山 (→関連談話 A 【2】)



写真2 産地化、神栖はピーマン (→関連談話 A 【3】 【4】)



写真3・4 海拔、避難場所の標識



写真5 液状化 (未補修の路肩、2012年9月)



写真6 鹿島港

手前右手の堤防で囲まれたところは、津波の前には潮が引いて底がむき出しになった

3 神栖市奥野谷（旧神栖）の談話

3-1 旧神栖の談話収録の概要

収録地点

茨城県神栖市奥野谷（通称「奥野谷浜」）
かみすしおくのや はま

※以下の談話では、神栖市波崎と区別するために「旧神栖」とする。

収録日

談話A（自由会話）…平成24（2012）年9月6・7日（火・水）

談話B（場面設定）…平成24（2012）年9月7日（水）

収録場所

茨城県神栖市奥野谷の建設事務所

話題（収録時間）

【1】テンデンシノギと昔の漁師（3分30秒）

【2】草山と弁天山（2分52秒）

【3】方言の話（2分2秒）

【4】農業の変化（4分55秒）

【5】講の話（4分10秒）

話者

話者A	男性	1938（昭和13）年	（収録時74歳）	農業
話者B	男性	1937（昭和12）年	（収録時75歳）	農業（漁業）
話者C	男性	1935（昭和10）年	（収録時77歳）	建設業・農業

3-2 旧神栖の談話A：自由会話

【1】テンデンシノギと昔の漁師

収録時間 3分30秒

話し手

A	男	1938 (昭和13)年	(収録時74歳)	
B	男	1937 (昭和12)年	(収録時75歳)	
C	男	1935 (昭和10)年	(収録時77歳)	
D	女	1957 (昭和32)年	(収録時54歳)	[調査者]

001D : コノ テンデンシノギワ コノマエノ キョネンノ シンサイノトキニモ
この 「てんでんしのぎ」は この前の 去年の 震災の時にも

ソーユ ハナシワ
そういう 話は

002B : フク フクシマデ ソンナー アレダーネ。
×× 福島で そんなー あれだよね。

003D : エ。 コ コノヘンデモ ハナシニ デマシタカ。
ええ。 × この辺でも 話に 出ましたか。

004A : カラ デンコクキョーツー ンー。
だから 全国共通 ンー。

005B : ダカラ アノー
だから あのう

006C : テンデンシノギワ ムカシッカラ (A ムカシッカラ アッタダ) ンー アッタ。
テンデンシノギは 昔から (A 昔から あった) ンー あった。

007B : ダカラ ソノコトバツツーノワ リョーシカ° ナカ° レナカ° レデ
だから そのことばというのは 漁師が 流れ流れて

008A : ソーナン ソーナンシッカラ (B ンー) ダカラ フネカ° ヤハラデ [1]
遭難 遭難するから (B ンー) だから 船が 柔なので

イマミタク ジョーブナ フネデネーガラ (D ンー) フネガ
今みたいに 丈夫な 船でないから (D ンー) 船が

サンカクナミデ [2] アノー カワグチ チョーシノ ソコー
三角波で あのう 川口 銚子の そこ[を]

デヘレ ハサキマデ コー クッカラ (D エー) ダカー チョーシド
/// 波崎まで こう 来るから (D エー) だから 銚子と

ハサキノ フナカタダヨ。 フナカタッテ ソレ リョーシ。
波崎の 船方だよ。 船方って それ 漁師。

009D : ワカリ フナカタ。 リョーシノコトデスネ。
XXX 船方。 漁師のことですね。

010B : ダカラ ハサ
だから XX

011A : ソッラ ソッラーノ コトバダダイナ。
それら それらの ことばだよな。

012B : ハサキニ デデモ ソーユコトバ デッカモシレ。
波崎に 出ても そういうことば[が] 出るかもしれない。

013A : ンー ンー デル。
んー んー 出る。

014D : ソーデスネ。
そうですね。

015B : ンー。
んー。

016C : ハサキワ ナオ デルヨ。
波崎は なお [漁師ことばが]出るよ。

017B : ナオ デル。 チョーシハサキワ オナシ。 ンー。
なお 出る。 銚子・波崎は 同じ。 んー。

018D : アノ コナイダノ シンサイノアトデ ソレゾレ アノ ツナミカ° キタラ
あの この間の 震災の後で それぞれ あの 津波が来たら

テンデンニ ニゲナサイッテユーノーガ イマ テレビナンカデ ヨク
てんでんに 逃げなさいっていうのが 今 テレビなんかで よく

キキマスケレドモ {A B 相槌} ココデワ ソノ ツナミダカラッテ
聞きますけれども {A B 相槌} ここでは その 津波だからって

ユーコトデワナクッテ。
言うことではなくて。

019A : デ チガ チガ チガー。
 ×× ×× 違う。

020D : アノー アラ ウミガ アライトキノ (A ソーソーソー) ハナシデスネ。
あのう ×× 海が 荒い時の (A そうそうそう) 話ですね。

021B : イヤ オラ テンデンシノギッテユーノワ ココノ コトバダナク チョーシノ
いや ほら てんでんしのぎっていうのは ここの ことばでなく 銚子の

コトバー イッタンダ。 チョーシダナイ ハサキノ。(D エー) ダカ
ことば[を] 言ったのだ。 銚子でない 波崎の。(D えー) だか

コッチデ ヤッテル ヤッパリ テンデンテ。 ダカ ヨースルニー ナニカ
こっちで やってる やっぱり てんでんて。 だから 要するにー 何か

コワイコト アッタトカ アノー アブナイコト アッタラ
怖いこと あったとか あのう 危ないこと あったら

テンデンシノキ° ダゾッテ。
「てんでんしのぎだぞ」って

022D : エー。 ソレワ ダイタイ コー リョーニ デテ アブナイコト
えー。 それは だいたい こう 漁に 出て 危ないこと

023B : マー シタイガ リョーダカラ アレダケド (A シタイガ リョーダ)
まあ 主体が 漁だから あれだけど (A 主体が 漁だ)

リョーバッカリジヤナグー (D エー) カリニー キケンナコトカ°
漁ばかりじゃなくー (D えー) 仮にー 危険なことが

アッタトギ テンデンシノギデヌク トユーコトモ アンダヨ。
あった時 てんでんしのぎで ということも あるんだよ。

024A : ムカシワ デンブ アノー チョーシハサキワ フナカタデ コツカラ
昔は 全部 あのー 銚子・波崎は 船方で ここから

イッテタンダヨ。(D へー) ダカ ソノー (D ハイ) {笑}
行ってたんだよ。(D へー) だから そのう (D はい) {笑}

025D : ケッキョク マジッ マジッテ ムコーカラモ コトバモ キマスシネ。
結局 ××× 混じって 向こうからも ことばも 来ますしね。

026A : オ オ ソーソーソー。 ンー。
× × そうそうそう。 んー。

027B : イヤ イッテタツツコトデネー。(A ンー) ムコーカラ ナガレダノガ
いや 行ってたということではない。(A んー) 向こうから 流れたのが

(D エー) ムゴージェ アノー チョーシワ チョーシハサキガ ソレー
(D えー) 向こうで あのう 銚子は 銚子・波崎が それー

カーク° チー イタカラ (D エ) リョーモ デカイシ ココワ フネ
川口[に] いたから (D え) 漁も 大きいし ここは 船

リョーテオ イガナケリヤイゲナイカラ (D エー)
////// 行かなければいけないから (D えー)

028A : フナカタッテユッタ。 イッテタ。 ソレデ デカセギミタイニ
船方って言った。 言った。 それで 出稼ぎみたいに

イッテタコロガ アン。
行ってた頃が ある。

029D : ハー。
はー。

030A : チョーシハサキサ。(D エーエー) イガイ ソレー フ フ フナ
銚子・波崎に。(D えーえー) 大きい それー × × ××

ナンテユン フナ ナンテユン フナヌシ。(D エー) ソーサー
何て言うの ×× 何て言うの 船主。(D えー) そうさー

リョーシトシテ イッテターダ、 ココノ (D へー) トショーリア
漁師として 行ってたんだ、 ここの (D へー) 年寄りは

トショーリア。
年寄りは。

031D : ソ リョーシトシテ イクトキワ アルイテイッテタンデスカ。
× 漁師として 行く時は 歩いて行ったのですか。

032A : アルイテ イッタンダ、(B アルイテ) アルイテ。 イソハマ アルイテイッタ。
歩いて 行ったんだ、(B 歩いて) 歩いて。 磯浜[を] 歩いて行った。

033D : イソハマ アルイテイッタ。
磯浜[を] 歩いて行った。

034B : イソー マー ウジノジーサンラーニ イワセンド イソー ロー イッチョー
磯を まあ うちの爺さんらに 言わせると 磯を 櫓を 1挺

ソ カツイデー (D エー) ハサキマデ イッタンダッテ。(D ヘー)
そう 担いでー (D えー) 波崎まで 行ったのダッテ。(D ヘー)

035A : デ ヨクユー オギボッタッテ。[3] オギボッタ カツイデー
[それ]で よく言う 「オギボッタ」 っテ。 オギボッタ[を] 担いで

036D : オ オギボッタワ ナンデスカ。{A 笑}
× オギボッタは 何ですか。 {A 笑}

037B : オギボッタッテー (D エー。 オギ オギボッタ) ヨースルニ ステテモ
オギボッタッテー (D えー。 ×× オギボッタ) 要するに 捨てるも

イーヨーナ ボロー キテー ヨースルニ
いいような ぼろを 着てー 要するに

038A : デ ジ ジブンノ キルモン モツテグダ。
で × 自分の 着るもの[を] 持っていくんだ。

039B : ナ ナニアッテモ ダイ ダイジナモノワ キテイガナイツツコト。
× 何[が]あっても ×× 大事なものは 着ていかないということ。

ダ ステテモ ステナクテモイー マ イ サイテーノモノ
だ[から]捨てるも 捨てなくてもいい まあ × 最低のもの[を]

キテイルツツコト。 オギボッタ。
着ているということ。 オギボッタ。

040D : ソレ オギボッタッテ ユンデスカ。
それ[を] オギボッタッテ 言うのですか。

041B : ンー。
んー。

042A : オキ オギボッタ ナン ナンキンボーサ [4] カツイデー イソハマ アルッテ
×× オギボッタ ×× 南京袋を 担いで 磯浜[を] 歩いて

043B : キカ° イーダケドモ (D エー) イーモノワ ヨノモノワ モツテガネート。
着替えだけでも (D えー) 良いものは 良いものは 持っていかないと。

ダ オ ボッタ ボロ。 ボッタツツノワ ボロダ。 オ
だ[から] × ボッタ[は] ぼろ。 ボッタというのは ぼろだ。 ×

044D : ジャ オギボッタワ ボロ。
じゃ オギボッタは ぼろ。

045B : ボロギ ン。
ぼろ着 ン。

046A : {笑} ンナ ボロワ キライネーダカラ。
{笑} そんな ぼろは 着られないから。

047B : ボロワ キライネーケド ボロノ スンゼンツヤツダ。(D ン)
ぼろは 着られないけど ぼろの 寸前というやつだ。(D ン)

048A : ダカー ソ ヒョーギンデ アラーシテンダンベ。 シテテモイーヨット。
だから × 表現で 表してるのだろう。 捨ててもいいよという。

049B : マ ソノバ ナニカアッタバーイ ステテモ オシグナイツツモノダ。
ま その場 何かあった場合 捨てても 惜しくないというものだ。

(D フーン) ダケド

(D ふーん) だけど

050D : ナニカアッタラ テンデンシノギデスカラネー。{C 笑}
何かあったら てんでんしのぎですからねー。{C 笑}

051B : ソー ソーダヨ。
そう そうだよ。

052A : ダカ オギボッタ カズイデ テンデンシノギサ イッテタダワ。
だから ぼろ着[を] 担いで てんでんしのぎに 行ってたのだよ。

053D : オギボッタ カツイデー。
ぼろ着[を] 担いでー。

054A : カツイデ。
担いで。

055B : カツイデグ キガイダ ヨースルニ ソレガー。 ヌレダトキノ キガイトカ。
担いで行く 着替えだ 要するに それが一。 濡れた時の 着替えとか。

デ イザツツトキニア ソノママ ステッチャート カラダダケ タスカルト。
それで いざというときには そのまま 捨ててしまうと。 体だけ 助かると。

056D : ソーデスネ。
そうですね。

【2】草山と弁天山

収録時間 2分52秒

話し手

A 男 1938 (昭和13)年 (収録時74歳)
B 男 1937 (昭和12)年 (収録時75歳)
C 男 1935 (昭和10)年 (収録時77歳)
D 女 1957 (昭和32)年 (収録時54歳) [調査者]

057A : ダカー コノヘンネー アノー コンビナートカ° キテー ゼンコクカラ [5]
だから この辺ねー あのう コンビナートが きてー、全国から

キテルワケダヨ コノ キギョーシナカデ。 [6] ソースト ミンシュクカ°
来てるわけだ この 企業の中で。 そうすると 民宿が

アンデショ。(D ソーデスネー) デ ミンシュクサー トマッテ [7] アサ
あるでしょう。(D そうですねー) [それ]で 民宿にー 泊まって 朝

サンポニ アルク_____。 ソースト ナ ナンデ コンナ
散歩に 歩くわけ。 そうすると × 何で こんな

ヤマンナッテンダッテ クサヤマダッ [8] コ (D ハイ) エー [9]
山になってるのだと 草山だ ここ。(D はい) 家[を]

タテルトコダケ_____ キレーンナッテンノワ。 デ ノーギョーモ ソレ
建てる所だけ_____ きれいになってるのは。 [それ]で 農業も それ

カイハツンナッテ [10] ノーギョー ハンゲンシチャッタッペ。(D エー)
開発になって 農業[が] 半減してしまっただろう。(D えー)

ダカラ ソノ アキチー クサヤマンナッテンダヨ。
だから その 空き地[が] 草山になってるのだよ。

058D : ソレ クサガ イッパイ ハエテルコト クサヤマッテ ユンデスカ。
それ 草が いっぱい 生えていること[を] 草山って 言うのですか。

059A : ソー クサヤマ。
そう 草山。

060D : コー タイラデモ クサヤマッテ。
こう 平らでも クサヤマって。

061A : タイラデモ クサ クサヤマ ゾーキガ [11] イッパイ _____。
平らでも ×× クサヤマ 雑木が いっぱい _____。

(D フーン) クサヤマッテユン クサヤマッテ。

(D ふーん) クサヤマって言うの クサヤマって。

062D : デ ヤマッテユッタラ ドンナモノデスカ。
それで 山と言ったら どんなものですか。

063A : ヤマ _____
山 _____

064B : ココア ヤマー ナイン。
ここは 山[は] ないの。

065D : ヤマー ナイ
山[は] ない。

066A : ダカ、ダカ ソラ ヤマー ネーダナ
だから、×× それは 山は ないんだな。

067B : ヤマッテ アノ コノヘンデ イッタノワ ヤマツツッタラ マー イマ
山って あの この辺で 言ったのは 山と言ったら まー 今

ベンテンヤマッテ [12] アノー アレガ アッタケド。アレ
弁天山って あのう あれが あったけど。あれ[は]

ジューメーターカ ソコ カイバツ ジュー ニジューナンメーター。
十メーターか そこ[が] 海拔 十 二十何メーター？

(C ニジュー ニジューナンメーター ン ニジューメータークライ) ソコガ

(C 二十 二十何メーター ン 二十メーターくらい) そこが

セーゼー ヤマダ。(A カイ カイ _____) カントーヘーヤノ イジバン
せいぜい 山だ。(A ×× ×× _____) 関東平野の 一番

コー アノ ナダレノホーワ [13] アノ イジバン アレダカラ。
こう あの ////の方は あの 一番 あれだから。

068A : キ°キ° ヨ ギョキ° ヨーノ カミサマツツテタ。ベンテンサマ。
××× 漁業の 神様って言った。弁天様。

069D : ベンテンヤマデスカ。
弁天山ですか。

- 070A : ベンテン _____
 弁天 _____
- 071B : ベンテンヤマテ アノ イマ キギョーノナカデ
弁天山って あの 今[は] 企業の[建物の]中で
- 072A : ワーカ マズッテアルヨ。
 わずかばかり 祀ってあるよ。
- 073B : ミーナクナッチャッテル キギョーノ イントツカ° [14] タクナッテ。
 見えなくなっちゃっている 企業の 煙突が 高くなって。
- 074D : アッ コノアタリニ ベンテンヤマガ アルンデスネ。
 ああ この辺りに 弁天山が あるのですね。
- 075C : アー。
 あー。
- 076A : アッタン モド。
 あったのだ 以前[は]。
- 077B : イマモ アンダヨ。
 今も あるのだよ。
- 078C : コッカラ ニキロクライ アルカナ。(D アー) ニキロマデ ナイカ。
 ここから 2 km くらい あるかな。(D あー) 2 km まで[は] ないか。
- 079A : ドー ダニホンエンキダツケ ドコダツケ アレ ダイニエンキデネー。
 どこ 大日本インキだっけ どこだっけ あれ 大日本インキじゃない。
 コッチガー。
 こっちか。
- 080C : シー ナンイキョーノントコ [15]。
 うん 南共のところ。
- 081A : ナンイキョーカ° マズッテアルヨナー (C シー) マズ。 デ
 南共が 祀ってあるよな (C んー) 松。 [それ]で
ベンテンサマーソノモノハ テラサ ヒッコシタッペ。(B シー)
弁天様そのものは 寺に 引っ越しただろ。(B ん)
- 082D : アレ オテラニ [16] ヒッコシタンデスカ。
あれ お寺に 引っ越したのですか。

083A : ンー ベンテンサマー マズッテアッタダヨ。(D エー) ソレコソ
んー 弁天様[を] 祀ってあったのだよ。(D えー) それこそ

ズイジノヤマ シノヤマ [17]。 シナヤマニー マズノキー コモッテ ソレオ
随一の山 砂山。 砂山にー 松の木ー 籠って それを

ギョギョー ムカシワ ソレー タンチキダノ ソンナ ギョタンダンナ
漁業 昔は それー 探知機だの そんな 漁業探知機だとか

アレガ レーダー ネーカラ。 ミンナ メデー (D エー) オキサ イッテ
あれが レーダー[は] ないから。 みんな 目でー (D えー) 沖に 行って

ソノ ベンテンサマー モコーサ ナン ナンキロ イッター ナンキロ
その 弁天様[の] 向こうに ×× 何 km 行ったー 何 km

ナンメートル イッタラ (D エー) ハー ココデ リョー デキルッテコトダ。
何メートル 行ったら (D えー) もう ここで 漁[が] できるってことだ。

(D アー) ソノー アカシダッタイナ。

(D あー) そのー 証だったよ。

084D : メジ メジルシダッタンデスネー。
×× 目印だったのですねー。

085A : メジルシ。
目印。

086D : ジャ ベンテンサマー ミナガラ ダイタイ (A ソーソー) ハマカラ
じゃあ 弁天様[を] 見ながら 大体 (A そうそう) 浜から

ドノクライ (A ンーンー) ハナレタッテ ミナガラ。

どのくらい (A んーんー) 離れたって 見ながら。

087B : アー ベンテンサマノ マツト (D エー) カシマノ マズトー シモーサノ
あー 弁天様の 松と (D えー) 鹿島の 松とー [18] 下総の

ナカ° オカノ マツトカ° ー ウミカラ チョットンノ アノ
ナガオカの 松とがー [19] 海から ちよつとの あの

イジダン アカ° ッテ ミーシノ。(D ミエル) ソコ サンカクテンデ
一段 上がって 見えるの。(D 見える) そこ[を] 三角点で

ソクリョーッテ アン (D ハー) ヨースルニ アノ リョーバオ キメデ
測量って ×× (D はー) 要するに あの 漁場を 決めて

(D エーエー) ヤッテタンダ。 ソレガ イマー ミーナクナッチャッタイ。
(D ぇーえー) やってたのだ。 それが 今[は] 見えなくなっちゃったよ。

088A : タカイ タテモノー デンデン ネーカラ (D ソーデスネ) ムカシアネー
高い 建物[が] 全然 ないから (D そうですね) 昔はねー。

089B : ンー メジルシガ ナカッタ。
んー 目印が なかつた。

090D : エー エン エントツノホーガ ズット タカイ。
えー ×× 煙突のほうが ずっと 高い。

091A : ノッペ ノッペナ ノッペラ トチダカラー。
××× 平らな 平らな 土地だからー。

【3】方言の話

収録時間 2分2秒

話し手

A	男	1938 (昭和13)年	(収録時74歳)	
B	男	1937 (昭和12)年	(収録時75歳)	
C	男	1935 (昭和10)年	(収録時77歳)	
D	女	1957 (昭和32)年	(収録時54歳)	[調査者]

092A : タダナー ココア シベテノモノ トレンダヨ。 ムカシャーナー スイガガラ
ただなー ここは 全てのもの[が] 取れるのだ。 昔はなー スイカから

093D : エー。
えー。

094B : イマ ヌッタトーリ。
今 言ったとおり。

095A : ンー。 スイガカラ トマトガラ ナンデモトレタンダヨ。(D エー) タダ
んー。 スイカから トマトから なんでも取れるのだよ。(D えー) ただ

サンチカサレチャッタカラ。(D エー) ソンダカラ ワーカバシ シ
産地化されちゃったから。(D えー) それだから わずかばかり ×

シドーサ モッテッテモ アイテニ サレネンダヨ。
市場に 持って行っても 相手に されないんだよ。

096B : 「ワーカ」モ ワカルー。
「ワーカ」も わかるー？

097D : 「ワーカバッカシ」。 サッキモ アリマシタネ。 「ワズカバッカリ」。(A _____)
「ワーカバッカシ」。 さっきも ありましたね。 「わずかばかり」。(A _____)

オボエマシタ。
覚えました。

098B : 「オメー ヌダッテキタノカ。」(D ハイ)「ヌダッテキタノカ。」
「オメー ヌダッテキタノカ？」(D はい)「ヌダッテキタノカ？」

099D : ワガンネー。
わからない。

100B : ワガンネー。
わからない。

101D : 「ワカッテキタ」デスカ。
「わかってきた」ですか？

102B : ヌダッテキタノカ。
「ヌダッテキタノカ？」

103D : ヌダッテキタッテノワ 「ワカッテキタ」デスカ。
「ヌダッテキタ」っていうのは 「わかってきた」ですか。

104B : チガー チガー。 「ヌダル」 ッテ (A コ ダ) ヌダルッテ
違う 違う。 「ヌダル」 ッテ (A こ だ) ヌダルッテ

ハイハイスルコト 「ヌダル」 ッツユン。
這い這いすること[を]「ヌダル」っていう。

105D : ハイハイガ 「ヌダル」デスカ。
這い這いが 「ヌダル」ですか。

106B : コドモカ° ハイハイシテ (D アー) オレケ° ノ ガキー ヨーヤク
子どもが 這い這いして (D あー) 俺の家の 子ども[が] ようやく

ヌダッテキタヨッテンダ。
這い這いしてきたよっていうんだ。

107A : アレダッペー、 オラ ハー トシトッチャッテ タテネー。 ヌダッテ
あれだろう、 俺[は] もう 年ととっちゃって 立てない。 這って

アルッテルヨッテ。(D ホーン) {笑}
歩いているよって。(D ふうん) {笑}

108B : ダカー トシートッテ (D エー) モー ハ カラダカ° (A コシ コシ
だから 年をとって (D えー) もう もう 体が (A 腰 腰

コシカ°) ウコ° カナクデー ヌダッテ アルク。(A コシ マガッテ)
腰が) 動かなくて 這って 歩く。(A 腰[が] 曲がって)

ソーイヤー アンマリ ツカー シトモ ナクナッテキタカナ。(D へー)
そう言えば あんまり 使う 人も なくなってきたかな。(D へー)

109A : コシ マカ° ッテ ア タテネーカラ ヌダッテキタヨッテ。
腰[が] 曲がって × 立てないから 這ってきたよって。

110D : ハウコトデスカ。
　　這うことですか。

111B : コノ ヌダルツノワ　　ドツカラ キテンノカナ。 チバケンノホーカ°
　　この ヌダルというのは どこから 来てるのかな。 千葉県のほうが

　　ユーノカナ。
　　言うのかな。

112A : チバケンダッペ。
　　千葉県だろう。

113B : シー。 ダ コノヘンノ ホーケ° シワー チバケンドー ガッチスル。 コノ
　　んー。 だから この辺の 方言は一　　千葉県と一　　合致する。 この

　　コノ ハマカ° タノ ヨースルニ (D エー) コノー カイカ° シセンノ
　　この 浜方の 要するに (D えー) この一 海岸線の

　　ココノ アレネ。(D エー) デー チバケンノ ホーケ° ンダヨ。
　　ここの あれね。(D えー) [それ]で 千葉県の 方言だよ。

114D : ソ ハサキワ チバケント (B ン) ホトンド カワシナイッテユー
　　そう 波崎は 千葉県と (B ん) ほとんど 変わらないという

　　(B カワシナイ) (A カワシネ) ハナシオ キーテタンデスガ。
　　(B 変わらない) (A 変わらない) 話を 聞いてたのですが。

115B : ダカラ ココト ハサキワー (D エー) チョットー ハサキノホーカ°
　　だから ここと 波崎は一 (D えー) ちよっと一 波崎のほうが

　　アラッポイ アーレダッタケドー。(D エー)
　　荒っぽい あれだったけどー。(D えー)

116A : マタ チガウンダイナー カミスト (D エ) ハサキワ。 ハサキワ
　　また 違うのだよなー 神栖と (D え) 波崎は。 波崎は

　　チョーシヨリダカラ。
　　銚子寄りだから。

117D : ライシユー ライシユー ハサキニ イクンデスケドモ。
　　来週 来週 波崎に 行くのですけども。

118A : ダ チョーシヨリダカ (D エー) チョーシノ コトバダ。 んー。
　　だから 銚子寄りだから (D えー) 銚子の ことばだ。 んー。

119D : チョーシミタイナカンジ。(A ン一)

銚子みたいな感じ。(A ん一)

120B : ダ カミスモー ココデ キーダノトー トネカ° ワゾイデワ ゼンゼン
だ[から] 神栖もー ここで 聞いたのとー 利根川沿いでは 全然

チカ° 。 ゼンゼンテ (D エ一) チョット チカ° ーカラ。 ナーナーデ
違う。 全然て (D え一) ちょっと 違うから。 「ナーナー」で [20]

「ナー」カ° ツイデ イッ チョット ムコーニ アノ ミトノホーニ
「ナー」が ついて ×× ちょっと 向こうに あの 水戸のほうに

(D エ一) チカイ コトバモ アンダヨ。

(D え一) 近い ことばも あるんだよ。

121D : ジャ カシマシニナルト マタ チョット チガイマスカ。

じゃ 鹿嶋市になると また ちょっと 違いますか。

122B : チカ° ーンダ。

違うんだ。

123A : チカ° ー。

違う。

124B : ダ カシマデモー アノ シタノー (D エ一) ヨースルイ ヨースルニ
だ[から] 鹿嶋でも あの 下のー (D え一) 要するに 要するに

ウミゾイオ 「シタ」 ッテユーカラ。 コノ ウミオ 「シタ」、 アノー アレ
海沿いを 「シタ」 っていうから。 この 海を 「シタ」、 あのー あれ

リクオ 「オカ」 ッツッテンダ。(A シッ シリアガリニナルンダイナ)

陸を 「オカ」 っっていってるのだ。(A ×× 尻上がりになるんだよな)

(C ン一 ナー) 「オカ」 ト 「ハマ」。 マー ココア 「ハマ」 ト。

(C ん一 なー) 「オカ」 と 「ハマ」。 まー ここは 「ハマ」 と。

【4】農業の変化

収録時間 4分55秒

話し手

A	男	1938 (昭和13)年	(収録時74歳)	
B	男	1937 (昭和12)年	(収録時75歳)	
C	男	1935 (昭和10)年	(収録時77歳)	
D	女	1957 (昭和32)年	(収録時54歳)	[調査者]

125D : ムカシワ タバコモ コノヘンワ ツクッテタンデスネ。
昔は タバコモ この辺は 作っていたのですね。

126A : シー ウ ウジガ イチバン アレダッペ ウジト X1 ッテ [21]
んー × 家が 一番 あれだろう 家と X1 って

イジバン フルイダ。
一番 [タバコ栽培が]古いのだ。

127B : ナ タバコモ コノヘンワ イ (A サイショー) サイショワ ムギト
× タバコモ この辺は × (A 最初) 最初は 麦と

(D エー) ムキ° ト サツマイモ (D ハイ) ラッカセー ヨースルニ
(D えー) 麦と さつま芋 (D はい) 落花生 要するに

スナチダカラ (D エー) ゼンブガゼンブ トレナイゲドー (D エー)
砂地だから (D えー) 全部が全部 穫れないけどー (D えー)

ソレ アレニ アーツートコロダケア ラッカー トレルトゴロ スー
それ あれ[土地]に あうという所だけは 落花生[が] 穫れる所 ××

イモノ トレルトコ。 アト スイガワ ソチデモ [22] トレタンダイナ。
芋の 穫れる所。 あと スイカは 路地でも 穫れたのだよな。

タダシ テンチカ° イシテ (D エー) テンチカ° エシ ワカンネー。 ワカル。
ただし 天地返しで (D えー) 天地返し[は] わからない? わかる?

128D : ワカリマス。 ヒックリカエス。 {A 笑}
わかります。 ひっくり返す。 {A 笑}

129B : ソーソーソーソー。 ショード イマミタクー ドジョーショードク
そうそうそうそう。 ちょうど 今みたいに 土壌消毒[が]

デキ° ナイガラー (D エー) スイガ ツグンノア ダイタイ
できないからー (D える) スイカ[を] 作るのは 大体

テンチガエシサーナー。 マグ コノヘンデ マグリッテユーケドー
天地返しだなー。 ×× この辺で[は] マグリって言うけどー

(D エー マグリ) ン。 トジ アノー ハダケ マグルッテ。(D ハタケ)
(D える マグリ) ん。 土地 あのう 畑[を] 捲るって。(D 畑)

マグルッテ ツ ツジオ マグルッツ イミダ。 マグルッツ ア マグルモ
捲るって × 土を 捲っている 意味だ。 捲るという あ マグルも

(A ツ テンチ テンチガエシ) ホーケ° ンダナー。
(A × ××× 天地返し) 方言だなー。

130A : マグルモ ホーゲンダー。 ホカデユッタッテ マグル
マグルも 方言だー。 他所で言ったって マグル

131B : マグル。
捲る。

132D : テンチガエシッテ アノ スイカオ テンチガエシスルンジャナクッテ
天地返しって あの スイカを 天地返しするのじゃなくて

133C : ソージャナグッテ
そうじゃなくて

134B : チガー チガーンダ。 ツジオ テンチガエシスノ。(D ツチオ)
違う 違うんだ。 土を 天地返しするんだ。(D 土を)

スイガワー イマー ミンナ テンチガエシシテンダ アレオ。(D エー)
スイカはー 今[は] みんな 天地返ししてるんだ あれを。(D える)

ホントワ マ ムカシワ コノ スイカツツノワ [23] シリガ
ほんとは × 昔は この スイカというのは 尻が

マッキーロンナッテンノカ° (D ソー ナッテマシタネ) ジクジテルツツー
真っ黄色になってるのが (D そう なりましたね) 熟してるという

(D エー) イミダッタンダヨ。 ソレ イマワ アレー アレー ソレオ
(D える) 意味だったんだよ。 それ[が] 今は あれー あれー それを

ナクシテンダヨ。 ダカー (A ショーヒンカ) イ イマ ソレー
無くしてるのだよ。 だから (A 商品化) × 今[は] それ[を]

135C : イマ スイガモ テ アノー カイ _____
今 スイカも × あのう ×× _____

136A : アレワ ショーヒンカツツッテー ソンナー ウリネーダ。
あれは 商品化とってー そんな[のは] 売れないのだ。

137C : キーロイノナー ンー。
黄色いのなー んー。

138D : キ キーロイノ。 カボチャモデスヨネ。
× 黄色いの。 カボチャもですよね。

139A : ソーソーソー。
そうそうそう。

140C : ンー。
んー。

141B : ダガラ カボチャモ アレモ ダ ムカシワ ソレデ シリオ ミデー
だから カボチャも あれも × 昔は それで 尻を 見てー

(D エー) (C ン) ジクシンドオ [24] ミダワケダ。 ンー。 イワ
(D ねー) (C ん) 熟度を 見たわけだ。 んー。 ××

ナンコモ アルカラ。 アー コラ マッキーロダナッテ。 ザラザランナッテ
何個も あるから。 あー これは 真っ黄色だなって。 ザラザラになって

ポンポイント タダイテ ソレデー アレー ミダ。 イーマ ソレ
ポンポンと 叩いて それでー あのう 見た。 今[は] それ[が]

ナンガツナンニジニ コ ハナツケシマシタ シルシ シテアンダモン。
何月何日に × 花付けしました[という]印[が] してあるんだもの。

ソイデー ナンカイカ サンカイグレー ヤンノカ アレ。
それでー 何回か 三回ぐらい [花付け]やるのか あれ。

142C : コー ナッ アノ カイニ
こう ×× あの ///

143B : カッコーユイ アノ カッコイー。
格好いい あの 格好いい。

144C : キー キーログナッテルトコロー コー
×× 黄色くなってるところを こう

- 145D : ナラナイヨーニ。
ならないように。
- 146B : シー。
ん。
- 147C : アノー タイヨーコーセンニ アデルヨーニシテ。 ソースットー
あのを 太陽光線に 当てるようにして。 そうするとー
- 148D : マンベンナク アオク。
まんべんなく 青く。
- 149C : シ アオグ。
ん 青く。
- 150B : ソーソー。
そうそう。
- 151A : キーモッタグレーニ [25] _____
気を盛ったぐらいに _____
- 152C : キーロイノ
黄色いの
- 153B : ケツノ キーロイノア ウレネンダー。
尻の 黄色いのは 熟れないのだー。
- 154C : ウレナイシ イグラガ ヒコ ヒコンジャーダイナー。
熟れないし いくらか ×× へこんじゃうのだよなー。
- 155B : シー。
ん。
- 156D : ヒモンジャーンデスカ。
ヒモンじゃうのですか。
- 157C : ヒコ ヒコム。 ヒコムッテー (D ヒコム) シー。
×× へこむ。 へこむってー (D ヒコム) ん。
- 158B : へコム。
へこむ。
- 159A : ヘンケーシテルワケダ。
変形してるわけだ。

160B : アー ヘコムモ ホーゲンダ。
あー ヒコムも 方言だ。

161C : ンー。
んー。

162A : {笑} へ へ へ
{笑} × × ×

163D : ヘコム。
ヘコム？

164B : へ ヘツコム。
× へっこむ。

165D : ヒ ヒコム。
× ヒコム？

166B : ヒツコムツンダ。 (D ヒツコム) ヒキコム。 ナンダ ヒッ
ヒツコムというのだ。(D ヒツコム?) 引き込む。 何だ ××

167C : ヒコムツテユーダ。 ヒ ヒコム。
ヒコムっていうのだ。 × へこむ。

168B : ヒコムツテユーケド (A ヒコム) イヤ ヒョージンゴデ ナンテア ドー
ヒコムっていうけど (A ヒコム) いや 標準語で 何と どう

カイシャクシロバツテユエバ
解釈すればって 言えば

169A : ヘンケーダツペ。
変形だろう。

170C : ソ ソレガ ヒ ヒ
× それが × ×

171A : ヒョージンゴワ ヘンケー。{笑}
標準語は 変形。 {笑}

172B : ヘンケーダケド
変形だけど

173A : ヘンケーシタラ ウレネーカラ。
変形したら 売れないから。

174C : ヒコ ヒコムッテ ヒコムッテユンダイナ ン。
×× ヒコムって ヒコムって言うんだよな ン。

175B : ン。
ん。

176D : ヒコム ヒコム。 ヒ ヤ チョット オトガ チガウダケデ
ヒコム ヒコム。 × いや ちよつと 音が 違うだけで

ヒョージュンゴモ ヘコムデス。
標準語も ヘこむです。

177B : ダロー。 ソーダイナー。
だろう。 そうだよなー。

178D : デモ コノアタリダト チョット コ ソレガ ヒコム。
でも この辺りだと ちよつと × それが ヒコム。

179B : ヘッコム。
へっこむ。

180D : ヘッコム。
へっこむ。

181C : ヘッコムッテユナー。
へっこむって言うなー。

182D : ヘッコム。
へっこむ。

183B : ダカ チョット ハツ アクセントカ° [26] チカ° ーダケダイ。
だから ちよつと ×× アクセントが 違うだけだよ。

184D : ン。 ヒッコムッテユッテモ イーデスカ。
ん。 ヒッコムって言っても いいですか。

185B : アー。
あー？

186D : ヘッコムジャナクテ ヒッコム。
ヘッコムじゃなくて ヒッコム。

187C : ン ヒッコム。 _____
ん ヒッコム。 _____

- 188B : ヒッコムデ ヒッコム ヒ ツ コ ム ダ。 ヒッコム。 ダカラ ジニ
ヒッコムで ヒッコム。「ヒ、ツ、コ、ム」だ。 ヒッコム。 だから 字に
 カイテ ハズオンデギナイヨ。 ヒツコムダ。 {AC 笑} へ へッコムダヨ。
 書いて 発音できないよ。 ヒツコムだ。 {AC 笑} × へっこむだよ。
- 189A : テ ジニ カイタラ ナンテ ヨムダイツツ。 {C 笑}
字に 書いたら 何て 読むのだいという。 {C 笑}
- 190B : ダカラ コレゼ トレバ ワガルケドー。
だから これ[録音機]で とれば わかるけどー。
- 191D : アトデ ジックリ キキマスカラ。
後で じっくり 聴きますから。
- 192D : イマ ジカヨーニ スイカワ ツクッテタリワ スルンデスカ。
今 自家用に スイカは 作ってたりは するんですか。
- 193B : ジカヨーニ ツクッテル シトワ アル。
自家用に 作ってる 人は ある。
- 194A : ツクッテンド オレゲ。
作ってるんだ 俺の家[で]。
- 195B : モー
もう
- 196D : ラッカセートカモ。
落花生とかも。
- 197A : ラッカセーモ ツクッテル。 シシヨクヨー。(D ハイ) ダ カラスガナー
落花生も 作ってる。 私食用。(D はい) だ[けど] カラスがなー
ルイ [27] ルイガ ネーガラー (D エー) シューチューテキニ クンダイ
類 類が ないからー (D えー) 集中的に 来るのだよ
アノヘン。
あの辺。
- 198C : シー。 マー
んー。 ××
- 199A : マーリニ ネーガラ。
周りに ないから。

200D : エー。
えー。

201B : イヤサ アレヨー イド ハッターリー アレー ヤンド タ タショーワ
いやさ あれよー 糸[を] 張ったりー あれ[を] やると × 多少は

キネーнда。
来ないのだ。

202A : タショーデネ。 デッターイ キネン。
多少でない。 絶対 来ない。

203B : ダイタ ゼッターイデネーヨ。
絶対でないよ。

204C : ナレ ンド
慣れ

205B : ハラ ヘンドー (C ンー) ハラ ヘンド コンドア (A テグソー ハンダヨ)
腹[が]減ると (C んー) 腹[が]減ると 今度は (A てぐす[を]張るのだよ)

アー カ ク クイアラシテ。 デ マタ チョット ナニカ
あー × × 食い荒らして。[それ]で また ちょっと 何か

カールツーツト コンドア マタ クル。 コナクナル。
[作物が]変わるといふと 今度は また 来る。 来なくなる。

206D : ナニオ ハルンデスカ。
何を 張るのですか。

207B : イト。
糸。

208D : イド。
糸。

209B : イトトカ アノー
糸とか あのう

210D : ハイ。
はい。

211A : テグソツテヨ ツリイト。
てぐすって[言っ]てよ 釣り糸。

212D : ナニ。
何？

213B : イトデ ハッテ ビーンテ カゼンナンデモ アノー ナビグノ。
糸で 張って ビーンテ 風でも何でも あのう なびくの。

(D ハイハイ) ソレカ° ギンカ° ミノ アノー (D ア一) アノ ドッカ
(D はいはい) それが 銀紙の あのう (D あ一) あの どこか

214A : カラスヨケ。
カラス除け。

215D : エーエーエー。
えーえーえー。

216B : アレー アンダロ。(D エ一) アノ エネノ (D ハイハイ) スズメヨケノ。
あれ あるだろう。(D え一) あの 稲の (D はいはい) 雀除けの。

(A カラス) スズメツツエバ イマ スズメ イネダネンカー。
(A カラス) 雀といえは 今 雀 いないのじゃないかー。

217A : カラスヨケ。
カラス除け。

218D : スズメ ヘリマシタヨネ。
雀 減りましたよね。

219B : アサーヨー、 ツンツンデ メー サメタノニ ツンツン キコエネーナー。
朝よー、 ツンツンで 目[が] 覚めたのに ツンツン 聞こえないなー。

{C 笑}
{C 笑}

220D : カーカージャナインデスカ。
カーカーじゃないんですか。

221B : カーカーガ オーイー。
カーカーが 多い。

222C : カラスワ インナー。
鳥は いるなー。

223B : カラスガ イルヨー。
鳥が いるよー。

224A : アレガ スム バショガ ナクナッタダッペー カ スズメモ。
あれが 棲む 場所が 無くなっただろう × 雀も。

225C : スズメワナー モード タンボニワ イッパイ イタダ.....
雀はなー 元[は] 田んぼには いっぱい いたんだ.....

226B : タンボカ° ネーカンダナー。
田んぼが ないからだなー。

227C : ンー。
んー。

228A : エサー ネーアンナー。
エサ[が] ないからなー。

229C : ンー。
んー。

230B : タンボガ ナカイ ナイガラ。(D タンボガ ネーカラデスカ) ダカラ
田んぼが ××× ないから。(D 田んぼが ないからですか) だから

アレダヨ ツバメモ イナクナッチャッタン。
あれだよ 燕も いなくなっちゃったよ。

【5】講の話〔28〕

収録時間 4分10秒

話し手

A	男	1938 (昭和13)年	(収録時74歳)	
B	男	1937 (昭和12)年	(収録時75歳)	
C	男	1935 (昭和10)年	(収録時77歳)	
D	女	1957 (昭和32)年	(収録時54歳)	[調査者]

231B : テンジンコーテ コドモデモ (A ン一) テンジンコーッテ アッタンダヨ。
天神講って 子供でも (A ン一) 天神講って あったのだよ。

232D : へー コドモーガヤル (B ン一) コーナンデスカ。
へー 子供がやる (B ン一) 講なんですか。

233B : ショーガッコーロクネンク° ライマデ。(D ン一) ア イマ ホトンド
小学校6年ぐらいまで。(D ン一) あ 今 ほとんど

ホトンド ゼンゼン ナイケドナ。
ほとんど ぜんぜん ないけどな。

234D : ソレワ ドーナナフーニ ヒトガ アツマッテ ナニオ
それは どんなふうに 人が 集まって 何を

ヤッテルモンナンデスカ。
やってるものなのですか。

235B : ン。
ん？

236A : アレオ コーシンサマツノガヨー (D エ一) アレー
あれを 庚申様というのがよー (D え一) あれ[は]

237B : アレ シャクショーノ アレダ。
あれ 百姓の あれだ。

238A : シャクショーデナク ジシント (D エ一) アレ タイフーカ (D ハイ)
百姓でなく 地震と (D え一) あれ 台風か (D はい)

サイガイ。(D エ一) ダカラ アレー マー キンジョートナリ コ
災害。(D え一) だから あれ まー 近所隣 ×

コーッテ。ナンゲングレー アンダ。 ソノー キッ キッ
講って。 何軒ぐらい あるのだ? そのー ×× ××

239B : マー ソノ ソノチクニヨッテモ
まー その その地区によっても

240A : チクニヨッテー ナンニンートカ キマッテネーダケド ダイタイ ウジノ
地区によつてー 何人とか 決まってないけど だいたい うちの

コーワ ジューゴロクニン イタナー。(D アー) デ チバケンノー
講は 十五六人 いたなー。(D あー) [それ]で 千葉県の一

サルタヒコジンジャッテ (D エーエーエ) ソコカラー ソノー カ
猿田彦神社つて (D えーえーえ) そこからー そのう ×

カケジ サマ コ カケジカ (D ハイ) (B ンー) ソレオ
掛け軸 ×× こう 掛け軸か (D はい) (B んー) それを

ムカエテキテー デー イツダッペ。
迎えてきてー [それ]でー いつだろう?

241C : ツギニ イッカイクレーズツ。
月に 一回ぐらいずつ。

242A : ツキニ イッカイダケドー (C ン) ソノ コーシンサマワー ジシン
月に 一回だけどー (C ん) その 庚申様は一 地震

ジシント カミナリド ソーイ シンサイヨケダカラー スグ オソナエ
地震と 雷と そういふ 震災除けだからー すぐ お供え

ハイクバ オ コーシンサマーオー ソ ソナエデ ソノー ナンダー
早く言えば × 庚申様を一 × 供えて そのー 何だー

ナンツダ アレワ コーユモノ ソナエデー、(D アー) フンデ スグー
何というのだ あれは こういうもの[を] 供えてー、(D あー) それで すぐー

243D : オ オカシトカ。
× お菓子とか?

244B : ゴコクダヨ。(A ゴコク) カシデナク ゴコク。
五穀だよ。(A 五穀) 菓子でなく 五穀。

245D : ゴコク。
五穀。

246B : ンー。
んー。

247A : ン。 ソレ ソナエデー コ コーユノモ ス ソナエンダヨ。 フンデ
ん。 それ[を] 供えてー × こういうのも × 供えるのだよ。 それで

ソレー ジシン キタラ ショーネーカラツツッテー ソノ コーシンサマー
それ[を] 地震[が] 来たら しょうがないからと言ってー その 庚申様

上 コ アゲダモノオ コンダ ミンナデ コー ワッテ タベンダヨ。
と × 上げたもの[を] 今度は みんなで こう 割って 食べるんだよ。

ソンデ オワリ。 ソ ソレカラ コンダ サケノミ ハジマル。
それで 終わり。 × それから 今度は 酒飲み[が] 始まる。

248B : ミナミニモ アッタッペ。
南にも あっただろう？

249A : ミンナ ヤッテタッペヨ。
みんな やってただろうよ。

250C : ウジノホーモ コー オコシ アノー (A ソレ コーシンサマー)
家のほうも ×× ××× あのー (A それ 庚申様)

コーシンサマーツノー (A ンー) ダケドー ウジナンカー
庚申様というの (A んー) だけどー 家なんか[は]

オソイガラー ハイッテナイン。 ナカッタ。 ソーデ
[住み始めたのが]遅いからー 入ってないの。 なかった。 それで

(A オラー) サンヤコーワ ズーット アッタヨ。
(A 俺[は]) 三夜講は ずっと あったよ。

251A : カイハ カイハツーマデ ヤッテタダワ。
××× [工業団地の]開発まで やってたんだよ。

252C : ン。 サンヤコーワ イマモ ウジノ (A ンー) アレダー ムスコラーダトカ
[それ]で 三夜講は 今も 家の (A んー) あれだー 息子らだとか

253A : ウチモ アレダッペー X2 サンラ [29] イジバン オーキーカナ。
家も あれだろう X2 さんら[の講が] 一番 大きいかな？

254B : ダ X2。
だから X2。

255C : X3 [30] X3 (A ンーンー) Y1 [31]。
X3 X3 (A ンーンー) Y1。

256B : X4 [32]。
X4。

257C : X2。
X2。

258A : べー。
 だろう。

259B : アー X2 ヤッテルツッテタナ。
あー X2[が] やってるって言ってたな。

260C : X2。 ソ ン。 ソレデー ケッコー サンジューニンクレー イルンデ
X2。 × ん。 それでー けっこう 三十人くらい いるので

ニジューニン。
二十人。

261A : カイハツンナツタカラヨ (C ン) シテタ ヤツワ ミンナ
開発になってからよ (C ん) [講を]してた やつは みんな

イテンシチャッタカラ (D アー) ソンデ カイサンシチャッタダワ ウジワ、
移転しちゃったから (D あー) それで 解散しちゃったのだよ うちの、

ウジノコーワ。
うちの講は。

262C : ウジノホーワ ケッコー アルン。(A ンー) ゼンゼン マイトスイー
うちのほうは けっこう あるんだ。(A んー) 全然 毎年

リョコーニ イグミタイ。
旅行に 行くみたい。

263B : ンーン ナン ソレ イッテタツケ ア X4ガ。
んーん ×× それ 言ってたつけ ああ X4が。

264D : サイヤコーデスカ サンヤ
サイヤ講ですか、 サンヤ

265C : サンヤコー サンヤ。 ソレワ オトコノ コー。
サンヤ講 「サンヤ (三夜)」。 それは 男の 講。

266D : サ サンヤカオ
× サンヤカオ

267A : ダカ サンヤコードー (C ン) コーシンサマト (D ハイ) (C ン) ソレガ
だから 三夜講と (C ン) 庚申様と (D はい) (C ン) それが

フジンプガ ミンナ ユサンコー。
婦人部が みんな 遊山講。

268D : ユサンコー。
遊山講。

269C : アーレ オ オブヤスコート。
あれ × 産安講と。

270B : アラー コヤ コヤスコーツー。
あれは ×× 子安講という。

271A : コヤスコー。 ダカラ ユサンコート。
子安講。 だから 遊山講と。

272D : コヤスコー。
子安講。

273B : ンー。 ンー。
んー。 んー。

274A : ダ イロイロ アンダヨ。{相槌} コヤスコー ユサンコーツテ。{相槌}
だ[から] いろいろ あるんだよ。{相槌} 子安講 遊山講って。 {相槌}

275B : マ ユサンコート コヤスコーフ オンナシダヨ。
まあ 遊山講と 子安講は 同じだよ。

276C : ムカシワネー アノ
昔はねー あの

277A : ダカラ デンブ コトバモ チガウベ。
だから 全部 ことばも 違うだろう。

278C : ナンダ アレー バーサンラモ アツタンデネーカ。
何だ あれ 婆さんらも あったのでないか。

279B : ジゾーコーダッ。
地藏講だ。

- 280C : ジゾーコーツ。
地蔵講という。
- 281B : ソサー ソノウエンナント ネンブズ。
そうさ その上になると 念仏[講]。
- 282C : ネンブズコー。
念仏講。
- 283A : ネンブツコー。
念仏講。
- 284D : {笑} コレ ネン
{笑} これ ××
- 285C : ミンナ コーガツク。
みんな 講が付く。
- 286D : ネンレートカ オトコトカ (B ン ネンレー) オンナデ。
年齢とか 男とか (B ん 年齢) 女で。
- 287C : ンー ソーソー。
んー そうそう。
- 288B : ネンブズワ アノ アレズッタット オトコモ オンナモ イッションナルケド
念仏[講]は あの あれだったと 男も 女も 一緒になるけど
- 289C : イッショデ ヤル ン。 ヤッタ デ サンヤコーワ オトコダケ。
一緒に やる ン。 やった [それ]で さんや講は 男だけ。
- オボヤスコーモ オンナダケ。
おぼやす講も 女だけ。
- 290D : ユサンコート コヤスコーワ オンナ。
遊山講と 子安講は 女。
- 291A : ンー。
んー。
- 292B : オンナ。 ダ コヤスコー。
女。 だ[から] 子安講。
- 293D : コヤスデスカラネー。
子安ですからねー。

294C : ンー。
んー。

295B : オコヤスコーッテ オー ツイタカラ コヤスコーダケド (C ンー) ダ
御子安講って 御[が] ついたから 子安講だけど (C んー) だ[けど]

ソレガー イマ ショクジカイミテニ (D ソーデス)
それがー 今[は] 食事会みたいに (D そうです)

ナッチャッテイルケド。(C ンー) ダカラ コヤスコーナンカ アレ アレ
なっちャっているけど。(C んー) だから 子安講なんか あれ あれ

ネーダロ、 カケ カケジク。
ないだろう? ×× 掛け軸。

296C : アノ カケジク。 アノー
あの 掛け軸。 あのー

297B : サンヤコーモ ネーダロ。
さんや講も ないだろう?

298A : サンヤコーワ アッペヨ。
さんや講は あるだろうよ。

299B : アンノカ。
あるのか。

300A : アルヨ。
あるよ。

301C : イヤ アン ンーンー アル。 アノ カケジオー
いや あるよ んーんー ある。 あの 掛け軸を

302A : ダッテー ソレ タイ ソレ タイネーケレ ソレー カケモチダカンナ。
だってー それ ×× それ / / ないけれ[ど]それ[を] 掛け持ちだからな。

303C : ンー ソデー ジシンナンカ (A トーバン トーバン) アッタトキワー ソレ
んー それでー 地震なんか (A 当番 当番) あった時はー それ

(A ン スグ ハズス) ナンダ ハズ スグ ハズスチャッテー。
(A ン すぐ 外す) なんだ ×× すぐ 外しちャってー。

304B : ダカラ ソーユー ナニナニコーテユーノカ° カタマッテ コノ チーギノ
だから そういう 何々講というの が 固まって この 地域の

(C ン一) デントーニ ナリツツアッタノカ° ー (C ン一) カイハツデ
(C ん一) 伝統に なりつつあったのがー (C ん一) 開発で

コレンナッチャッタンダイ。
これ[駄目]になっちゃったのだよ。

旧神栖の談話 A (自由会話) 注記

【1】 テンデンシノギと昔の漁師

[1] ヤハ

柔。頑丈でない。丈夫でない。ヤワとも。

[2] サンカクナミ

利根川からの流れと太平洋の海の流れが交わるところの三角状の高くて荒い波。

[3] オギボッタ

ぼろ着。「ボッタ」はボロ布のこと(『文化財かみす 第20集』)。オギ(沖)、つまり船の上で濡れたときの着替えのぼろ着。

[4] ナンキンボー

「なんきんぶくろ(南京袋)」のこと。南京袋は「広麻こうま製の粗織りの袋。多く穀類を詰めるのに用いる。」(『大辞林』1988.三省堂)とある。

【2】 草山と弁天山

[5] ゼンコク

「ゼンコク」の「ゼ」の発音はゼとデの中間の音。

[6] キギョー

開発企業を略した言い方。鹿島臨海工業地帯の開発によってこの地域に進出してきた工業地帯の企業のこと。それ以前は企業はなかった。

[7] ミンシュクサ トマッテ

開発企業の建設のために、一時的にこの地に来ている人たちが民宿に寝泊まりする。現在は、建設作業に当たる人ではなく、サッカーなどのスポーツ合宿のための滞在施設となっている民宿が多い。

[8] クサヤマ

草山。草が生い茂っている空き地。平らなところでもクサヤマと言う。

[9] エー

「エー」(家)の発音は[i]と[e]エの中間の音。

[10] カイハツ

昭和38(1963)年からの臨海工業地帯開発のこと。

[11] ゴーキ

ススキやセイタカアワダチソウなど、混じって生えているいろいろな雑多な草。砂地なので、いわゆる「雑木林」にはならない。

[12] ベンテンヤマ

弁天山。弁天様を祀ってあったすな小高い砂山。後のほうの会話にあるように、現在は工業地帯の建物や煙突で見えなくなってしまったが、かつては漁に出た船からも目印になるような小高い砂山だった。

[13] ナダレノホー

「なだらかな方」という意味か。話者にも不明。神栖・波崎の方言集等にも見られない。当地で「ナダレ」と言えば、2~3月に吹く時雨混じりの喜多からの突風を言う。

[14] イントツ

「イントツ」(煙突)のイは、イとエの中間の音。

[15] ナンイキョー (ナンキョー)

鹿島南共同発電所の略称。ここが、弁天様の松を祀っている。

[16] オテラ

神栖市奥野谷の般若寺のこと。

[17] シノヤマ

「スナヤマ」(砂山) が訛って「シノヤマ」に聞こえる。

[18] 鹿島の松

鹿島方面の高くなっているところ。話者によれば、今、灯台がある辺りではないかとのこと。

[19] ナガオカの松

千葉県銚子市あるいは香取市の長山のことか。ふつう、「しもさやま(下総山)」と呼んでいたという。

【3】方言の話

[20] 「ナーナー」

旧神栖地域の利根川沿いの方言の特色を指している。「ナーナー」は、例えば、「なんだお前ら」を「ナンナー オメーラ」など。

【4】農業の変化

[21] X1

人名(名字)。

[22] ソチ

「素地」か。路地、露地栽培のこと。

[23] スイカ

シーカに近い発音。

[24] ジクシンド

「熟進度」か。熟度のこと。

[25] キーモッタグレー

気を盛ったくらい。ほんの少し。

[26] アクセント

発音(音声)のこと。

[27] ルイ

同時期に穫れるような作物。

【5】講の話

[28] 講の話

談話に出てくる各種の講について、会話中の情報以外の話者からの情報として、次のようなことがある。

- ・庚申様…話者の世代で、この地に住み始めて5~6代以上の家が講に加わっていたようである。庚申様の行事では、行事の最中に地震が来たら当番の家は、もう一回当番をやることになる。そこで、掛軸をかけ、お供えを上げて拝むと、早々にお供えを下げて行事をお終いにする、ということになる。
- ・三夜講…未婚・既婚の若い男の講。二十三夜の晩に行ったか。

- ・子安講・遊山講・地蔵講…女の講。子安講は20～30代の若い世代、40代後半頃から遊山講になり、さらに年齢が上がると地蔵講になる。
- ・念仏講…年配の男女の講。昔は50代なら念仏講だった。
また、「庚申様（庚申講）・三夜講・子安講・念仏講」について、『茨城方言民俗語辞典』（以下では、「民俗辞典」と示す）ならびに『文化財かみす 14』（以下の引用では、読み仮名と改行を省略し、「かみす」と示す）には次のように説明されている。
- ・天神講…天神信仰は本来、天を祭る信仰でしたが、やがて雷神信仰に発展しました。
（中略）この行事は、子供達が春・夏・冬の休みに廻り番で宿を決めて行います。子供の中の年長者が、天神様などを長い白紙に墨で描き、それを神棚の下などに掲げ、おまいりします。そして、食事を作って食べたり、遊んだり、また習字をしたりして、楽しく一日を過ごします。（「かみす」）
- ・庚申様…コーシンサマ【庚申様】(1)神様の一。作物の神様（昨神様）だという。（中略）(2)庚申信仰の会。隣組の主人たちが頭屋へ集まる（地点省略）。各人米2合半を持参し（地点省略）、猿田彦の掛軸をかけ（地点省略）、一晚中念仏を唱え、飲食する。（以下、省略）（「民俗辞典」）
- ・庚申講…コーシンコー【庚申講】庚申信仰の会。庚申の日に、隣組の主人たちが頭屋へ集まり、コーシンサマ（猿田彦か青面金剛）の掛軸をかけ飲食する。頭屋は輪番でなる（鹿島郡全域、他略）。（中略）会が終わったら、掛軸をすぐはずさないと地震がおきるという（地点省略）。夜の12時前に地震があると、その晩か（地点省略）翌日に（地点省略）、会をやりなおす。この晩、夫婦関係をしてはいけない。（以下、省略）。（「民俗辞典」）
- ・庚申講…（前略）守庚申は、庚申にあたる日の禁忌をとまなう信仰で、中国の道教の影響を受けたものです。これは、平安時代以降、庚申信仰として地方庶民へ広まる際に猿の信仰と結びついたり、神道や仏教と融合するなどして普及しました。庚申講は、各組ごとにあり、参加は戸主、あるいは家族の者で、宿は輪番制です。全員が集まると、庚申の掛軸をかけ、ろうそくをあげて唱え拝みます。そして礼拝が終わると飲食などをして過ごします。庚申を信仰する人々の間では、講をはじめてある年月がたつと、記念の石塔を造立するならわしが広く行われました。さらに、庚申講は信仰集団であると同時に、地域の共同体であり、経済的に互いに助け合うなどの役割も果たしました。（「かみす」）
- ・三夜講…サンヤコー【三夜講】(1)主人の月待ちの会。毎月か年数回、23日の夜当番の家へ集まり、三夜尊または二十三夜尊の掛軸をかけ飲食する（神栖、他地点省略）。月がでるまで、夫婦の交りをしてはいけない（地点省略）。(2)婦人の月待ちの会（以下、省略）。(3)年寄りの月待ちの会（地点省略）。(4)若い衆の月待ちの会。年数回、23日の夜に集まり飲食する（神栖、波崎、他地点省略）。(5)[児]1月23日のこどもの行事。（以下省略）。（「民俗辞典」）
- ・子安講…コヤスコー【子安講】若い主婦の会の一。定期的に集まり、観音様や子安地蔵などの掛け軸をかけ、安産を祈りながら会食する（波崎、他地点省略）。このときのろうそくの燃えのこりは安産のお守りになり、短いほどよいという（地点省略）。妊婦の家をまわって念仏もする（地点省略）。また、猫供養といって安産を祈り、二股の栗の木に「子安大明神」と書いて辻などへたてる（地点省略）。（「民俗辞典」）
- ・念仏講…念仏は元来、仏を思念することでしたが、やがてより多くの信者にも容易に行うことのできる実践行として、口に仏名を唱えることに発展しました。念仏信仰の会合を念仏講といいます。講の人々は毎月当番の家を集まって念仏を勤め

ます。また、この集りでは掛金を積み立てて、会食や葬儀の費用に当てたりもしました。「かみす」

- ・念仏講…ネンブズコー【念仏講】年寄りの会。特定の日に集まり、念仏を唱え、会食をする。虫送りや嵐除け、また葬儀にも参列し、鉦や太鼓を叩き念仏を唱える（神栖、他地点省略）。年配の婦人だけの会のところもある（以下、省略）。「民俗辞典」

上記の他、会話に出てくるユサンコーは「遊山講」、ウブヤスコーは「産安講」、ジゾーコーは「地藏講」と考えられるが、「民俗辞典」「かみす」に見出しはなかった。

[29] X2

人名（名前）。

[30] X3

人名（名字）。

[31] Y1

X3の屋号。

[32] X4

人名（名前）。

参考文献

神栖町教育委員会(1991)『文化財かみす 第14集』神栖町教育委員会
赤城毅彦(1991)『茨城方言民俗語辞典』東京堂出版

3-3 旧神栖の談話B：場面設定会話

話し手

A	男	1938 (昭和 13) 年	(収録時 74 歳)
B	男	1937 (昭和 12) 年	(収録時 75 歳)
C	男	1935 (昭和 10) 年	(収録時 77 歳)

(1) あいさつ：朝、道端で友人に会った時

○親しい人、または、目上から目下へのあいさつ

001A：オー ドコサ イグダ。
おー どこに 行くのだ。

○目上の人へのあいさつ

001B：オハヨーゴザイマス。
おはようございます。

《解説》

親しい間柄なら、改まったあいさつはあまりしない。例えば、「オー ドコサイグ (ダ)」(おー どこに行く (んだ) ?) と声をかけると、「クサカリニイグ」(草刈りに行く) などと返事するという。

目上に対しては、改まって上に示したように「オハヨーゴザイマス」(おはようございます)。

(2) あいさつ：昼、道端で友人に会った時

○その1

001A：コンチワー。
こんちは。

○その2

001A：オー コンチワ。 ナンダ ナニ ヤッテンダ。
おー こんちは。 何だ 何 やってるんだ。

○その3

001A：ナニ ヤッテンダイ。 ゲ ゲンキカ。
何 やってるんだい。 × 元気か。

○その4

001B : オー イシー [1] ドサ イク。 オー オメー ドコサ。
おー お前 どこへ 行く。 おー お前 どこへ？

(3) あいさつ : 夕方、道端で友人・知人に会った時

001A : アー オシマイナサイ。
あー お終いなさい。

002B : アー オラモ シマーダヨ。
あー 俺も 終いにするよ。

《解説》

「オシマイナサイ」は、日がかたむいて西に行って、仕事を終わりにする頃の時間のあいさつ。昔は、農家の人夕方になって万能（マンノウ、農具）を担いで帰る途中、人に会うと「オシマイナサイ」とあいさつしたという。同輩、目上ともに使える。今の人はあまり使わない。

(4) あいさつ : 夜、道端で友人・知人に会った時

001A・B : コンバンワ。
こんばんは。

(5) 労い : 仕事に精を出す人と会い、その労をねぎらう

001A : ガンバッテンネ。ゼーブン ガンバッテンネ オメー。 ハー シマーベヨ。
がんばってるね。ずいぶん がんばってるね お前。 もう 終いにしよう。

《解説》

畑でいっしょけんめい仕事している人に対する労いの言い方。

(6) 勧め : 仕事をしている人に、「少し休むように」と勧める言い方

○その1

001A : エー イップクヤッペー。
えー 一服やろう。

○その2

001B : サンジノ イップクダー。
三時の 一服だ。

《解説》

その1・その2は、自分も一服して一休みし、相手にもひと休みを勧める表現。「イップクシベー」（一服しよう）とも。

○その3

001A：サンジンナッタラ イップクシロヨ オメーラ。
三時になったら 一服しろよ お前達。

○その4

001B：サンジノ イップクー シ シロヨ。
三時の 一服[を] × しろよ。

(7) 訪問時の声かけ：昼間、XがY宅を訪れる時の声かけと、Yの返事

◆訪問者の声かけ（朝）

001B：オハヨー イルカイ。
おはよう いるかい。

○その1（X・Yともに話し手A）

001A：ダレカ イッカ。 ダレモ イネーノカイ。 ダレカ イッカイ。
誰か いるか。 誰も いないのかい。 誰か いるかい。

002A：オー イルヨ。
おー いるよ。

○その2（Xは話し手A・C、Yは話し手A）

001A：オー インノカヨ。
おー いるのかよ。

002C：オー イッカー。
おー いるかー。

003A：イルヨー。
いるよー。

◇仲のいい親しい人に対する言い方についての話者談

001A：ホントニ シタシー シトダラヨー オー インノカイ。
本当に 親しい 人ならよー おー いるのかい[のよう言う]。

オハヨーモ コンチワーモ イワネー。 イツマデ ネットンダッテ。
おはようも こんにちはも 言わない。 いつまで 寝てるんだっと言う。

(8) 借用の依頼と受諾：スコップ等を借りる時の言い方

○その1：スコップを借りる

001A：スコップ アッカイ。
スコップ あるかい。

○その2：[何か] を借りる

001B：ナニナニ アッカ アッカイ。アッタラ カシテクレ アイテタラ カシテクレ。
何々 あるか あるかい。あったら 貸してくれ 空いてたら 貸してくれ。

《解説》

昔は機械でも何でも貸し借りをした。農作業でも親せきや友達で「ヨイ(結)」になって共同で行った。「ヨイン ヤッペヤ」(結に やろうや)、「ヨイニ シベー」(結に しよう)、「ヨイ ヤッペー (結 やろう)」などと言って行った。

(9) お礼：借りたもののスコップを返しに行った時の言い方

○その1

001A：ドーモダ。
どうも。

○その2

001B：ドーモ。 アリガト。
どうも。 ありがと。

《解説》

その2のように「アリガト」をつけるときもあるが、だいたいつけない。その1の「ドーモ」で済む。

(10) 破損の謝罪、許容、不満：XがYに借りたスコップを壊してしまい、謝る時のやりとり

(10-1) 構わないという場合

○やりとり (Xは話し手A、Yは話し手B)

001A：イー ブッカケッチッタド。 オメーガ クサッテッカラ イー
柄[が] ぶっかけちゃったぞ。 前が 腐ってるから 柄[が]

ブッカケッチッタワ。{笑}
おぶっかけちゃったよ。{笑}

002B：ナンダー ブッカイチャッタダ。 ソンジャ シャーカイ [2]。 ソラー
なんだ ぶっかいちゃったんだ。 それじゃあ 仕方ない。 それは

シャオネーナー [3]。
仕方がないなー。

◆Xの謝罪の言い方：その1

001B：ヤッチャッタカラ ワリカッタネ。
やってしまったから 悪かったね。

◆Xの謝罪の言い方：その2

001A：イーヨ オレ ナオシトクカラ。 ブッコロシタカラ オレ ナオシテクルヨ。
いいよ 俺[が] 直しておくから。 壊したから 俺 直してくるよ。

(10-2) 不満を述べる場合

○その1

001B：ソレ ショーネーナー ソンダー ナオシテコーヨ。
それ しょうがないなー それでは 直してこいよ。

○その2

001B：ダ ショーネーカラ ンジャ ナオシー キ キテクレヨ。
じゃ 仕方ないから それじゃ 直しに × 来てくれよ。

(11) 誘いと断り

◆誘いの言い方

001B：オー イグカー。
おー 行くか。

◆XがYを飲み誘い、Yが断る時のやりとり (Xは話し手B、Yは話し手A)

001B：チョーシサ ノミニイグペー。
銚子に 飲みに行こう。

002A：オラ ツゴーワリー。 イガネーヨ。
俺[は] 都合悪い。 行かないよ。

(12) お見舞い：体調を崩しているYに、Xが体の調子を尋ねる時のやりとり

(12-1) Yの調子がいい場合

◆尋ねる言い方：その1

001A：チョー シイーカイ。
調子 いいかい。

◆尋ねる言い方：その2

001B：ドーダイ。 ナンダ グエー ワリーツケド ドーダイ。
どうだい。 なんだ 具合[が] 悪いと言うけど どうだい。

◆答える：その1

001B：デ デージョブダヨ。 ナンデモネーヨ。
× 大丈夫だよ。 何でもないよ。

◆答える：その2

001B：デージョブダヨ ナントカー ヤッテルヨ。
大丈夫だよ なんとか やってるよ。

(12-2) Yの調子が悪い場合

(会話なし。)

《解説》

具合悪い時は、あまり銚子を尋ねたりしない。相手(病人)も返事しない。

(13) 申し出：体の調が悪く、家の片付けもできないという人に、「(私が)片付けてやろう」という言い方

○その1

001A：ヤッテヤロー。
やってやろう。

○その2

001A：ヤッテヤッペー。 イシー シトリデ ウイランメー。
やってやろう。 お前 一人で できないだろう。

○その3

003A : シトリデ デキメー ヤッテヤルヨ。
一人で できないだろう やってやるよ。

《解説》

昔は「ヨイ（結）」があったので、何かあったら皆手伝いに来ていたが、今は、他人に迷惑をかけないように金を出して業者に頼んでしまう。昔は、例えば新築する場合も、木を切り出すところから、皆、「ヨイ（結）」で寄って、お互い様でやり合っていた。今、その名残で、冠婚葬祭の葬儀は助け合いが行われている。

今回の大震災の被害では、業者も被害にあったりしたため、業者の修理を待ってられないので、応急手当として、周囲の何ともなかった人（親戚や近所の人）が「ドーダ」と声をかけ、手伝いに来てくれたと言う。

(14) 禁止：片付けの最中に、大事なものを間違えて捨てようとするのを制止する言い方

○その1：「捨てるな」

001B : ステンナー。
捨てるな。

○その2：「やるな」

001B : ヤンナー。ソナノ ヤンナー。
やるな。 そんなの やるな。

◇参考1：「捨てる」

001B : ソナノ ステツチェイ。ソナモノ イレネーカラ ステツチェイ。
そんなの 捨ててしまえ。そんなもの 要らないから 捨ててしまえ。

◇参考2：叱責・その1

001A : ナニ ソレネー。 オイ コサ オイタノニー イシー ドサ
何 それがない。 おい ここに 置いておいたのに お前 どこに

モッテッタダ。
持っていったのだ。

◇参考：叱責・その2

001A : バーカタレ オメー ナーンダ ヒトー オイタノニー ナーニ
ばかたれ お前 何だ 人[が] 置いておいたのに 何だ

デージナモンダッペー。
大事なものだろう。

旧神栖の談話B（場面設定会話）注記

- [1] イシ
二人称代名詞。「イシ」と「オメー」は同輩に対して使う。
- [2] シャーカイ
「ショーネー」（仕方ない）に同じ。
- [3] シャオネー
「仕方がない」に同じ。